

# 礼拝プログラム

2017年4月30日

司会: 本多兄 奏楽: 西井姉 通訳: 大倉師

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: \* Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈禱: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

『ホセア: 神の愛とは』

“Hosea: This is God's love”

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝禱: \* Benediction

\* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: ラッド姉、大野姉

グリーター: ウィットワース姉、ランドール姉

ナーサリー: 大倉姉、奏姉

チルドレンチャーチ: クロセツティ姉、シラ姉

セキュリティ: ジェイ・ウォーカー兄

## 来週、7日の礼拝

司会: 西井兄 奏楽: ヴォウト姉 通訳: 大倉師

メッセージ: 「ヨナ書: 神はこうして語られる」

賛美: LP254、花も

アッシャー: ディッチ姉、テリケス姉

グリーター: 須波姉、パークスデル姉

ナーサリー: 本多姉、スタンクリフ姉

チルドレンチャーチ: 町田姉、シラ姉

セキュリティ: モンドラゴン姉

## お知らせ

本日の礼拝後の予定

コーヒーアワー、地域別ミーティング、理事会

■今日の礼拝によくそいらっしやいました。心より歓迎します。また続けてお越しください。

■四月最後の日曜日は私達の属している北米ホーリネス教団が定めている教団創立日(ファンダーズ・デイ)です。このために毎年、この日には教団創立献金を募っています。これらはリタイア牧師の必要のために用いられます。同封しました封筒をお用いください。

■今日は礼拝後に地域別ミーティングがもたれます。八尋ホールに各グループの名簿が掲示されていますので自分の住んでいる地域のグループに御参加ください。お名前がない方もご自身の住所のグループにどうぞ。

■今年の夏期修養会の申込書を配布しました(必要な方は牧師オフィスドアにあります)申し込みの締め切りは5月28日(日)です。必要事項を書き込み、英子姉に申込書とチェックをお渡しください(チェックの宛先はSDJCC でメモ欄に英語で shuyokai と明記)。このために今年の夏期修養会のバスも予約しました。49名まで乗員できますので、まだ席がありますが、全てが埋まり次第、締め切ります。

■来週はカレーランチです。この度は母の日を前に男子会が準備をさせていただきます。またその時に修養会のバスのためのラブ・オファリングを募ります。ご協力をお願いします。

■今年は7月14日(金)、15日(土)にウエストコビナ教会で教団総会がもたれます。このために日本語部から二名の代議員を送る予定です。当教会の教会員で総会に代議員として出席を希望する方は牧師までお声をおかけください。

## 今週の予定

3日(水) 水曜集会 7:30pm-

4日(木) 木曜集会 10:30am

6日(土) 賛美練習 10:00am-

7日(日) カレーランチ

## 孝客不恵

男女の体の造りが異なるように、その思考や感情にも違いがあります。このことゆえにそれぞれの必要も異なります。一般的によく言われることは、女性は親密な関係を求め、男性は関係よりも勝つことや征服することを求めるということです。これらの心身の違いは神様が最初に人を造られた時にインプットされたもので、これらの必要が健全に満たされていきますと男性と女性の関係は良き方向に向かいます。

これらのことを踏まえてパウロは夫婦に関して、とても短い言葉を書いています。まさしくそれはこの男女の違いのことを言っています。

『いずれにしても、あなたがたはそれぞれ、自分の妻を自分自身のように愛しなさい。妻もまた夫を敬いなさい』(エペソ5章33節)

パウロはここで夫婦をひとまとめにして互いに愛し合いなさいとは書きませんでした。夫に対しては「妻を愛しなさい」と書き、妻に対しては「夫を敬いなさい」と書きました。これは男女の違いを熟知している者だけが知っている良き夫婦関係の極意です。

妻は誠実な夫の愛を必要とし、夫は自らがしていることに対する評価と敬意を必要としています。これらのものが互いに行き届かなくなると、夫婦の関係がぎくしゃくしてきます。このことはいかなる夫婦にも起こりうるもので、そうなった時に夫は妻に対する愛、妻は夫に対する敬意、このことを省み、改善しますと夫婦の関係は回復していきます。

もちろんこの互いの必要は相手に要求するだけでは不十分で「愛される存在」となること、「尊敬される存在」となること、このことに取り組んでいこうとする私達の日頃の、そして継続的な取り組みが大切なのは言うまでもありません。